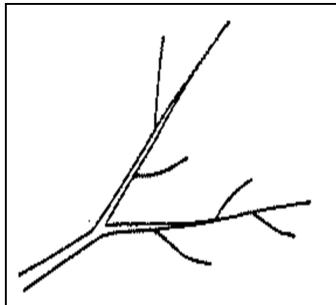


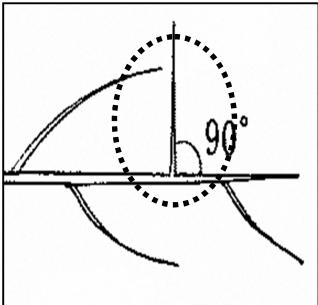
第20回 農業後継者りんご整枝せん定競技会（筆記試験）

団体名		番 号		氏 名	
-----	--	-----	--	-----	--

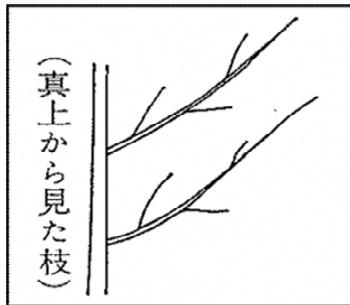
問題1 次の図の名称を答えなさい。 8点（各2点）



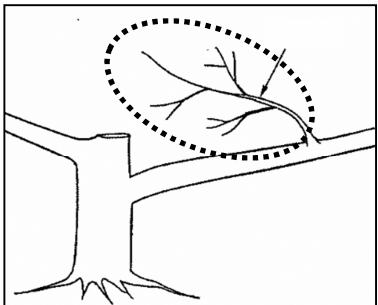
（ 共 枝 ）



（ 角 枝 ）



（ 平 行 枝 ）



（ 逆 向 枝 ）

問題2 次の文章にあてはまる用語を選びなさい。 20点（各2点）

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| ① 果枝長が長果枝以上、徒長枝も含む | 答え <u>発育枝</u> |
| ② 地上部（TOP）と地下部（ROOT）の吊り合い。地上部／地下部で表す | 答え <u>TR率</u> |
| ③ 枝の長さを途中から切ること | 答え <u>切り返し</u> |
| ④ 主枝の背中に結実部位をやぐら状につくった状態 | 答え <u>やぐら枝</u> |
| ⑤ 生育旺盛な枝に対して、生育をけん制するために利用する枝 | 答え <u>けん制枝</u> |
| ⑥ 樹体に切り傷等が生じた時に、治癒作用が働いて新しくできる組織 | 答え <u>ゆ合組織</u> |
| ⑦ 果台から発出した枝 | 答え <u>果台枝</u> |
| ⑧ 新梢の先端部がトゲ状で芽らしい芽の形成がない枝 | 答え <u>針枝</u> |
| ⑨ 着葉部位に形成された芽 | 答え <u>定芽</u> |
| ⑩ 果実が成った跡で頂芽の形成がないもの | 答え <u>果瘤</u> |

間引き、切り上げ、切り返し、長果枝、発育枝、ふところ枝、けん制枝、やぐら枝、斜向枝、最短果枝、果台枝、針枝、頂芽、果台、果瘤、定芽、混合芽、TR率、RT率、ゆ合組織、結合組織

問題3 次の文章の（ ）にあてはまる用語を下から選びなさい。 16点（各2点）

- ①樹の骨格を作るうえで、主枝の発出部位は（ 北 ）を高く、（ 南 ）を低く出すのが基本である。
- ②枝は高い位置や先端から出たものほど生育が（ 旺盛 ）である。これを（ 頂部優勢 ）という。
- ③主幹の長さから見た樹形の仕立て方において、主枝の高さが地表から2.4m以上を（ 長幹 ）、0.6～1.2mまでを（ 短幹 ）仕立てという。
- ④りんごの（ 花芽 ）形成は、主に7月上旬頃から8月下旬頃にかけて行われる。
- ⑤幹や枝、葉などの伸長肥大する生長を（ 栄養生長 ）、花をつくり、果実を生産する生長を（ 生殖生長 ）という。
- ⑥若木や樹勢の強い樹には（ 間引き ）剪定、樹勢の弱い樹には（ 切り返し ）剪定が基本である。
- ⑦丸葉栽培において、開心形に移行する過程として、主幹形（ 変則主幹形 ）、（ 遅延開心形 ）、開心形の順に樹を構成していく。
- ⑧花芽形成は（ 短果枝 ）、中果枝、（ 長果枝 ）の順番で形成される。

東、西、南、北、切り返し、短い、間引き、旺盛、衰弱、生殖生長、栄養生長、頂部優勢、基部優勢、長幹、中幹、短幹、主幹形、遅延開心形、変則主幹形、開心形、花芽、葉芽、頂芽、短果枝、長果枝、発育枝

問題4 剪定葉隠れ論語より次の語録はだれか答えなさい。 10点（各2点）

- ①「剪定とは切らぬことと見つけたり」 答え 水木 淳一
- ②「りんご樹は三年を1期としてかわる」 答え 斎藤 昌美
- ③「樹に窓をつけよ」 答え 滝川 伝次郎
- ④「骨は仁王の如く、成り枝は姫の如くせよ」 答え 対馬 竹五郎
- ⑤「枝に凹凸を着けよ」 答え 今 喜代治

問題5 次の問いに答えなさい。 8点（各4点）

- ①県天然記念物に指定されており、今年で樹齢148年になるつがる市柏のりんご最古の樹の2品種は何か。

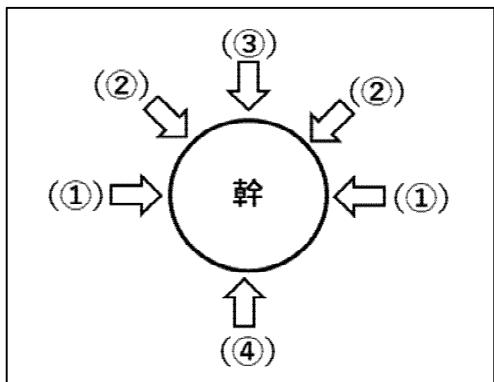
答え 祝、紅絞（しぶり）

- ②「ふじ」の生みの親と育ての親と言われる人物は誰か。

答え 生みの親 森 英男

育ての親 斎藤 昌美

問題6 次の図¹の①～④の部位²別の呼称を答えなさい。 20点（各5点）



答え① 横（よこ）

答え② 肩（かた）

答え③ 背（せ）

答え④ 腹（はら）

問題7 整枝剪定の目的を3つ答えなさい。 9点（各3点）

答え ① 良品安定生産・安定収量維持

② 健全な樹体の維持

③ 作業性の向上

問題8 花芽形成(7月)に良い条件³を3つ答えなさい。 9点（各3点）

答え ① 花芽分化期間の気温が涼しいこと

② 日照時間があること

③ 適度に乾燥状態であること

¹側枝断面図

²枝の発出部位

³気象条件